

(別紙5)

整理番号 2017P-073
補助事業名 平成29年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 静岡県予防医学協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

乗降用リフト搭載、撮影室をフラット化したバリアフリーな車内設計、音声発生装置(10か国語対応)を搭載した胸部X線デジタル検診車を整備することにより、車椅子利用者、高齢者及び県内居住の外国人など、より多くの県民にがん検診を受診する機会を提供し、肺がんの早期発見と予防を図ること、生活習慣病予防への意識を高めるための普及・啓発活動を行うことを目的とする。

(2) 実施内容

胸部X線デジタル検診車の整備 (<http://www.shsa.net/about/>)



車両側面



車両後部



乗降用リフト搭載



バリアフリーな車内設計



電動式立位撮影台
および音声発生装置

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

住民健診及び事業所における定期健康診断での肺がん検診の受診率を向上させ、早期発見と予防を推進していく必要がある。導入する検診車は、乗降リフト設置、撮影室をフラット化したバリアフリーな車内設計、音声発生装置を搭載しており、より多くの方に安心して肺がん検診を受けていただける環境が整備され、肺がん検診の受診率の向上と疾病の早期発見が期待できる。

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等 (<http://www.shsa.net/bulletin/>)

当協会広報紙『第131号けんこう静岡』(平成29年10月1日発行)へ掲載

「胸部X線デジタル検診車の整備」

本年9月、(公財)JKAの賦補補助事業により、胸部X線デジタル検診車を導入しました。

このたび、当協会の藤枝検診センターに、公益財団法人JKA(平成29年度 検診車の整備補助事業)の補助を受け、最新の画像診断装置を搭載した胸部X線デジタル検診車を導入しました。

この画像診断装置は、間接変換FPD装置(フラットパネル)と呼ばれ、従来の画像診断装置に比べると、画質が大幅に向上し画像が鮮明に撮影できるため、細部の異常も見逃すことなく発見できることが期待されます。また、撮影時の放射線量も減少したため、受診者の放射線被曝量の低減も図られます。このほか、この装置ではデジタル撮影のため現像を行うことなく撮影後すぐに技師が画像を画面で確認できます。

検診車内については、多くの方に使いやすいユニバーサル車両をコンセプトに、大きな特徴として、受診者ではなく、撮影装置が動いてくれるため、床がフラットで安全性が高まり、乗車姿勢のまま胸部撮影のポジショニングが出来ます。

また、観音開きで広い乗降口のほか、車両背面に昇降リフトを設け、車いすの受診者も安全に乗降できます。また空調には発電機電源を利用した電気クーラーを採用することにより、車両のエンジンをとめることができ、排気ガスの減少や受診者の検査待ちでの環境改善が図られます。さらに、検診車内における動作についてわかりやすく絵や文字で表示するパネルや音声発生装置(10か国語対応)を搭載しており、聴覚障がい者や高齢者、外国人の方々にも安心して検診を受けることができる仕様となっています。

当協会では、現在胸部X線検診車を13台保有しており、今後も「みんなの健康を守る」の理念の下に、静岡県民の健康の保持・増進に努めてまいります。



 静岡輸送オートレースの補助事業   KEIRIN.JP  KEIRIN OFFICIAL WEBSITE

県、市町、教育委員会、各学校、
健康保険組合、健診事業所等に配布、
その他ホームページにも掲載し、閲覧可能

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 静岡県予防医学協会
(シズオカケンヨボウイガクキョウカイ)

住所： 〒421-1214

静岡県静岡市葵区建穂一丁目3-43

代表者： 代表理事 横田 通夫 (ヨコタ ミチオ)

担当部署： 総務部総務課 (ソウムブソウムカ)

担当者名： 係長 八木 徹 (ヤギ トオル)

電話番号： 054-636-6461

F A X： 054-636-6462

E - m a i l： shizuoka-yobo@shsa.net

U R L： <http://www.shsa.net>